

### 実践報告3

## 帯活動を通じたディスカッション（基礎）の指導について

—生徒が楽しみながら、苦手意識を克服する授業を目指して—

愛知県立大府東高等学校 教諭 榊原 啓文

### 1 はじめに

漠然と英語が苦手だと感じている生徒に対して、スモールステップを積み重ねることで生徒の自信を付けさせる必要があると考えている。本稿では、主に「話すこと [やり取り]」に着目し、その指導の過程における帯活動、パフォーマンステストを通じた生徒の成長と変化を紹介したい。その成果と課題を分析した上で、ディスカッションの一連の指導方法や評価の工夫について報告する。

### 2 単元の目標と言語活動

#### (1) 教材

ア 教科書：Grove English Communication III New Edition（文英堂）

イ 単元：Lesson 16 Earth Hour

#### (2) 単元の目標

題材である Earth Hour の取組を通して、ふだんの生活の中で可能なエネルギーの節約について考える。文法における学習事項である①倒置、②SVOC（過去分詞）の用法や注意事項を理解する。

言語活動としては、身近にできるエネルギー節約について、自分の考えを伝えたり他人の考えを聞いたりすることで、新たな行動について考えることで、ディスカッションの基礎的な技術を身に付ける。

### 3 関係する領域別目標（学年のCAN-DO）

聞くこと	身近な話題や社会性のある内容について、簡単な内容であれば情報や説明を繰り返して聞いて、要点を理解することができる。
読むこと	論理性のある説明文や物語文など、さまざまな分野の英文を読んで、辞書を使い、語彙リストがあれば大筋の内容を的確に理解できる。内容について英語の質問に簡単な英語で答えることができる。
話すこと [やり取り]	日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
話すこと [発表]	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
書くこと	教科書に関連した話題や幅広く社会に関係したテーマに関する自分の考えを、辞書などを効果的に使いながら100語程度で書くことができる。

#### 4 単元の評価規準（五つの領域ごとの評価規準の設定）

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	<p>&lt;知識&gt; 倒置/SVOCの用法を理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; 身近なエネルギー節約や本文を読んで感じたことを伝えられる技能を身に付けている。</p>	相手に自分の考えを伝えるために、教科書の内容を参考にして、環境保護について理由などを加えながらやり取りをしている。	相手に自分の考えを伝えるために、教科書の内容を参考にして、環境保護について理由などを加えながらやり取りをしようとしている。
書くこと	<p>&lt;知識&gt; 自分の意見や主張を伝えるために必要な論理の構成や展開及び表現等を理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; 環境保護について、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身に付けている。</p>	読み手に理解してもらえるように、環境保護について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を論理の構成や展開を工夫して詳しく書いて伝えている。	読み手に理解してもらえるように、環境保護について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見や主張を論理の構成や展開を工夫して詳しく書いて伝えてようとしている。

※「聞くこと」については目標に向けて指導は行いが、本単元において記録に残す評価は行わない。

#### 5 言語活動を中心とした指導と評価の計画

時間	ねらい、学習活動	評価の観点			指導上の留意点 評価規準（評価方法）
		知	思	主	
1 5 3	<p>【ねらい】 単元のテーマに対する生徒の興味・関心を喚起するとともに、今回の単元の目標を確認する。 教科書や関連する話題を扱った他教材から必要な情報を得たり、特定部分の要点を捉えたりする。</p> <p>【学習活動】</p> <p>①帯活動（small discussion）</p> <p>②本文中の倒置やSVOC等の文法に関する事柄を理解する。</p> <p>③教科書を読んで、特定部分の要点（Earth Hourの概念とその効果）を理解する。</p> <p>④教科書のQ&amp;Aを解く。</p>	ね一 導齊 にに 生記 か録 すし こと残 は徒す 毎の 時価 間活 行動 行の う。わ 。状 。況 。不 を見 届だ けし て、 て			<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の目標をロイロノートで配信する。</li> <li>単元を通して学習の振り返りは適宜行わせる。（ロイロノート）</li> </ul>

4	<p>【ねらい】 今回の単元で学習したことや、教師から得た情報などを参考にして、自分が実践している環境保護のアイデアをまとめる。</p> <p>【学習活動】</p> <p>①教科書の Activities や教師が考えた環境保護のアイデアとその効果に関する説明を聞いて、概要や要点を捉える。</p> <p>②①を参考に、自分が実践している環境保護のアイデアを語句レベルでメモを作成する。</p> <p>③ディスカッションに必要な表現を理解する。</p> <p>④②のメモや③を活用しながら、アイデアをペアで伝え合う。</p>	<p>指導に生かすことは毎時行わう。</p> <p>ねらいに即して生徒の活動の状況を。ただし、一斉に記録に残す評価は行わない。</p>			
5	<p>【ねらい】（パフォーマンステスト） まとめたアイデアを相手に伝える。</p> <p>【学習活動】</p> <p>①3人グループを作り、ディスカッションの流れを理解する。</p> <p>②自己評価をする。</p>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーブリックによる評価</li> <li>・パフォーマンステストを行わないグループは教員による評価は行わず、自己評価のみとする。</li> </ul>
6	<p>【ねらい】 他人の考えも聞いた上で、環境保護のために自分ができることを英文で書く。</p> <p>本単元で学んだことや次の目標などを振り返りシート（ロイロノート）を用いて記入する。</p> <p>【学習活動】</p> <p>①50語程度の作文を書く。</p> <p>②今回の単元の学習内容を振り返る。</p>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配布し、①の内容から、「思考・判断・表現」を評価する。あわせて、②の記載状況から「主体的に学習に取り組む態度」も評価する。</li> <li>・①について、ロイロノートへの記載を検討する。</li> </ul>
後日	ペーパーテスト	○	○	○	

## 6 パフォーマンステスト

### (1) 実施方法

- ア 9月下旬に実施
- イ 3人1組8グループ（計24人）
- ウ ディスカッションの流れを確認し（別添資料）、役割分担

### (2) 指導上の留意点

- ア 聞き手が理解しやすいよう平易な表現を用いるように促す。

イ ディスカッションの流れ，使用できる表現については別紙で示す。

ウ ルーブリックに従って，生徒が意識すべきポイントを示す。

(相づち，他人の意見を評価する表現，自分の意見，理由，サポートセンテンスなど)

## 7 ルーブリック

### (1) 評価方法

ア 自己評価と教員による評価（思考・判断・表現）

イ 振り返りのアンケート調査（主体的に学習に取り組む態度）

### (2) 評価の領域（内容のまとめ）：「話すこと[やり取り]」

○「思考・判断・表現」についての三つの条件

条件1：環境保護に関する自分の意見を示している。

条件2：なぜそれを実践しているか理由を述べている。

条件3：他人の意見を反応したり確認したりする表現を使用している。

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a (3点)	・語彙や表現を適切に使用している。 ・聞き手に分かりやすい音声等で話している。	三つの条件を満たした上で，関連した情報や自分の考えを詳しく話して伝えている。	三つの条件を満たした上で，関連した情報や自分の考えを詳しく話して伝えようとしている。
b (2点)	・多少の誤りはあるが，理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話している。 ・理解に支障のない程度の音声等で話している。	三つの条件を満たして話して伝えている。	三つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c (1点)	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

※「おおむね満足できる」状況を b とする

## 8 実践報告

### (1) 計画

3年生文系クラスのコミュニケーション英語β（3単位）において実施する。ロイロノートでさまざまな学習を行っているので，振り返りや経過の記録を残すのに生徒がスマートフォンを利用することは一般的になっている。生徒用Wi-Fi，生徒用プリンタも整備され，ICTの環境としては徐々に改善されている。ただ，タブレットが80台しか導入されておらず，タイピングなどの作業を求めると不都合が生じることもある。

### (2) 実践

9月下旬に実施。当初4人1グループで計画していたが，評価の正確さを高めるため3人1グループで実践した。8グループを1時間で終える予定が，ワクチン接種の副反応で欠席者が続いたことなどにより，実際には3時間を要した。それぞれのグループのパフォーマンスをタブレットで撮影した

が、評価の補助的な役割を担い、結果的に有効であった。

### (3) 検証

今回のパフォーマンステストを行うに当たり、生徒がディスカッションに慣れていないということもあり、以下のように段階を踏んだ。

- ア 単元の目標を示す際、ディスカッションによるパフォーマンステストの実施を予告する。
- イ 毎授業の帯活動で、使用できる表現を増やしながらかディスカッションの練習を重ねる。
- ウ 最初のディスカッションを終えたのち、その感想をロイロノートに記録し、生徒の技量と心情の変化を読み取れるようにしておく。
- エ パフォーマンステストにおけるテーマは事前に発表しておくが、グループは当日に発表し、ある程度の即興性や対応力も要求する。
- オ テスト後、自己評価を行い、教員による評価の返却時には面談でアドバイスをを行う。
- カ 単元終了後、ディスカッションにおける自分の成長と今後の目標などをロイロノートに記録し、評価の参考にする。

毎時間の帯活動は、”Should we go abroad to improve your English skill?” など生徒に関連する話題を設定し、使用できる表現を駆使しながら「やり取り」の時間は確実に増えていった。使用したテーマや参考にできるURLをロイロノートで毎回生徒に送信し、興味関心を深められるよう工夫した。

全体的には、ほとんどの生徒がディスカッションを通して自分の意見を言えるようになり、今後も英語を話せる機会が必要と感じる生徒も多かった。

### (4) 考察・分析

#### ア 自己評価の結果

ディスカッション終了後、生徒は自己評価を行った。3観点について、ループリックのa, b, cに鉛筆で○を付けた上で提出した。その後、教員はa, b, cに赤ペンで評価を重ね、コメントを付して返却した。その際、今後の目標などを面談で確認し、生徒のモチベーションが少しでも上がるようにポジティブフィードバックを心がけた。

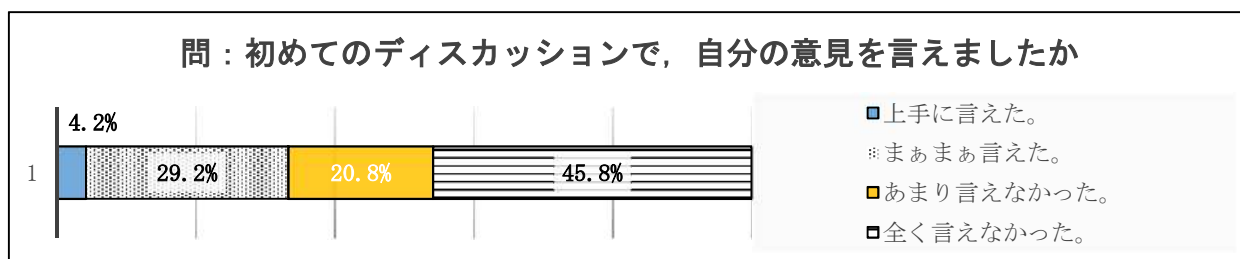
#### イ 教員による評価

パフォーマンステストの結果は以下のとおりであった。

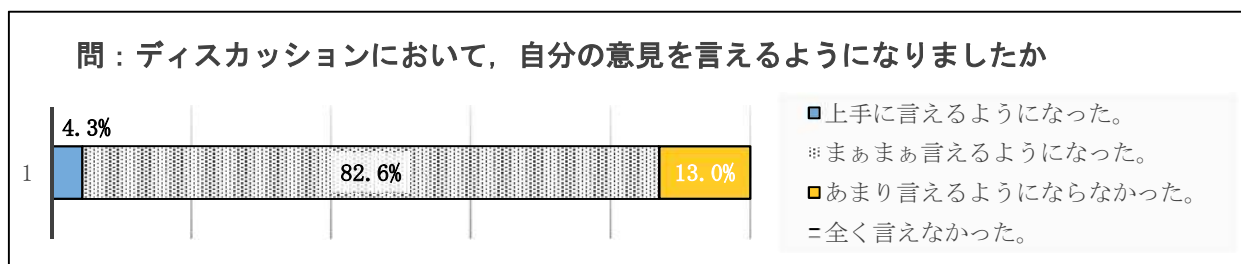
- ・「知識・技能」 a: 3人, b: 19人, c: 2人
- ・「思考・判断・表現」 a: 4人, b: 14人, c: 6人

#### ウ 生徒の情緒面の変化

ロイロノートにおいて、生徒の情緒面の変化を確認した。結果は以下のとおりである。



【図1 指導初期の生徒の意識】



【図2 指導後の生徒の意識】

上記のとおり、帯活動やパフォーマンステストを通して、自分の意見を言えるようになった生徒が大幅に増え、英語で「やり取り」をすることへの不安が取り除かれたことが分かる。英語で「やり取り」することの楽しさを感じた生徒が多いことも、以下の生徒の感想を見れば明らかである。

#### (5) 生徒の感想（一部生徒の抜粋）

ア 帯活動で、初めてディスカッションを行った後の感想

- ・英語で話すのが上手いかなかった。書くよりも話す方が難しく、同じ単語や簡単な単語しか使えなかった。
- ・会話が膨らまなかった。ちゃんとした理由になっているのか分からない。
- ・自分が言いたいことを英語で伝えるのが難しい。

イ パフォーマンステスト後の感想

- ・相手の意見を聞いて、反応したりすることはできるようになったのだけど、自分の意見を言うとなると、まだ単語が思いつかなかったりして伝えきれないところがあったので、もっと単語のスキルをあげていきたいなと思いました。
- ・discussion はコミュニケーション英語βの授業で初めてやったけれど、英語で自分の意見を伝えるのは難しかったです。でも、他の人の意見を共有するのは楽しかったです。また機会があれば、もっと相手に反応してより会話をスムーズに出来るようになりますです。
- ・単語や文法もちろん大事ですがコミュニケーション能力も大事だなと思いました。聞き取りやすい声や速さ、相手の目を見て反応することも大切だと学びました。相手が反応してくれたらあまり緊張もせず会話ができ楽しかったです。

#### (6) 改善点等

ア 「相手の考えを確認する」「自分の考えを言い換える（繰り返す）」など詳細に指示をしていたため、細かい流れを気にしすぎる生徒が多かった。

イ 教員用タブレットのみでは生徒の発言が聞き取りづらく、ICレコーダーがあるとよりよい。

## 9 参考文献

- ・文部科学省（2018）『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 外国語編 英語編』
- ・文部科学省 国立教育政策研究所（2019）『学習評価の在り方 ハンドブック 高等学校編』
- ・国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校外国語』

ある TOPIC について互いに意見を出し合いながら議論を進めるもの。意思決定か意見交換を目的とする。

A：テーマについて尋ねる。

B：自分の考え+理由・サポートセンテンスなど

A：相手の意見に反応する。自分の考え+理由・サポートセンテンスなど

B：相手の意見に反応する。あいさつ。(Aも)

A：テーマについて尋ねる。

B：自分の考え+理由・サポートセンテンスなど

A：相手の考えを確認する。

B：自分の考えを言い換える(繰り返す)。

A：相手の意見に反応する。自分の考え+理由・サポートセンテンスなど

B：相手の考えを確認する。

A：自分の考えを言い換える(繰り返す)。

B：相手の意見に反応する。あいさつ。(Aも)

意見を述べる

I think ～.

In my opinion, ～.

I'd like to say ～.

(他人の意見の後) Let me make another proposal. ～.

(他人の意見の後) I'd like to add ～.

理由を述べる

I think ～ because ....

The reason is that ～.

Let me give my opinion. ～.

賛成意見を述べる

I agree with you because ～.

I think that's a good point.

反対意見を述べる

I don't agree with you because ～.

My opinion is quite different from yours.

相手に尋ねる

What do you think, ○○?

How about you, ○○?

相手の意見に反応する。

That's a good idea.

Sounds great / good / nice.

That's true.

相手の考えを確認する

Are you saying that ～? / You are saying that ～.

What you mean is that ～.

What you are saying that ～.

その他

As for me, ～. 「私に関して言えば, ～」

In my case, ～. 「私の場合, ～」